

校長先生のおはなしきちんと聞けるかな

町内の小中学校で一斉に入学式
(4月6日；西五百川小学校)

特集／平成19年度の町づくりと予算

町政スポット／朝日町光ブロードバンド開通式 3月定例議会 ほか

まちの話題／美しい農村づくりプロジェクト「超ビッグ鼎談」

創遊塾、朝日の地酒まつり ほか

広報

あさひまち

2007年4月号

No. 605

朝日町は朝ごはんを食べよう運動を推進します。

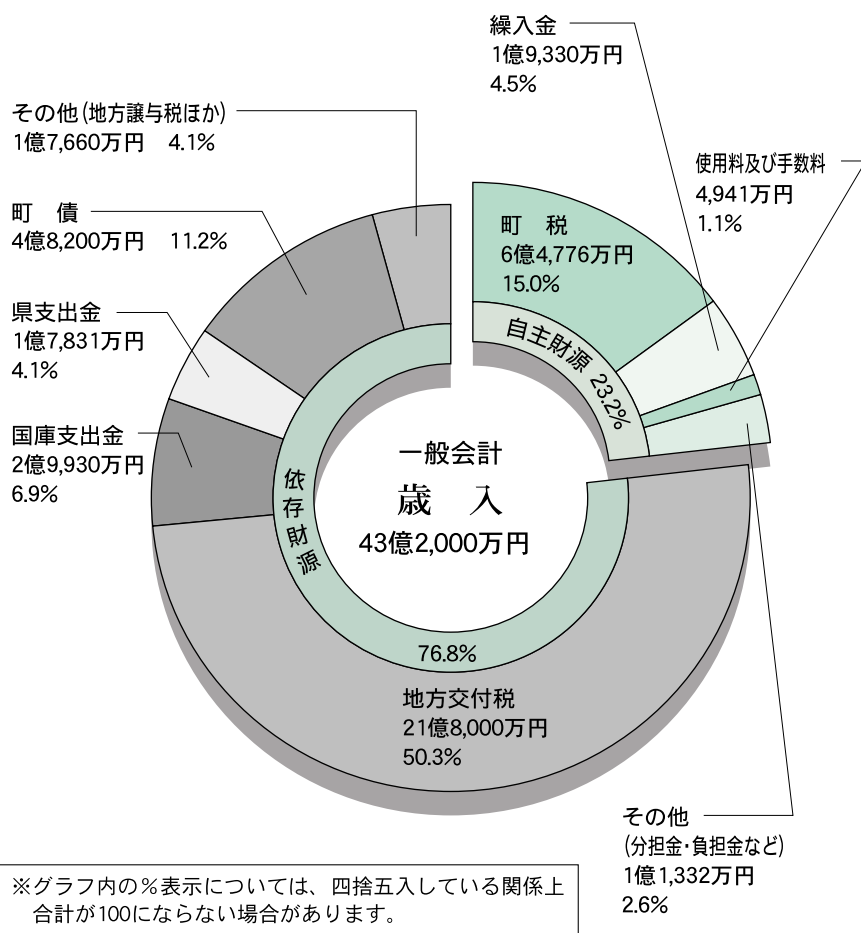
43億2,000万円

ずっと住み続けたい、ここに住んでみたい

そんな朝日町に

平成十九年度の当初予算が決められました。
一般会計の総額は四十三億二千百万円で、昨年度に比べると〇・九%、三千九百万円増加しました。

主な事業は、「第2子（3歳以上）以降の保育料月額五千元定額化」や、地域の自発的な取り組みを支援する「地域提案型交付金事業」などです。
限られた財源を効率的に配分し、重点事業に集中投入させた予算編成となりました。



に、町の予算をあえて家計にたとえてみました。
6,700円)とします。

収入

家計にたとえた場合	
41万6,700円	月収（給料）
9万5,783円	給料のうち基本給
32万 917円	給料のうち諸手当
4万 911円	貯金取崩しなど
6万5,040円	親などからの支援
6万5,638円	金融機関からの貸入
58万8,288円	

支出

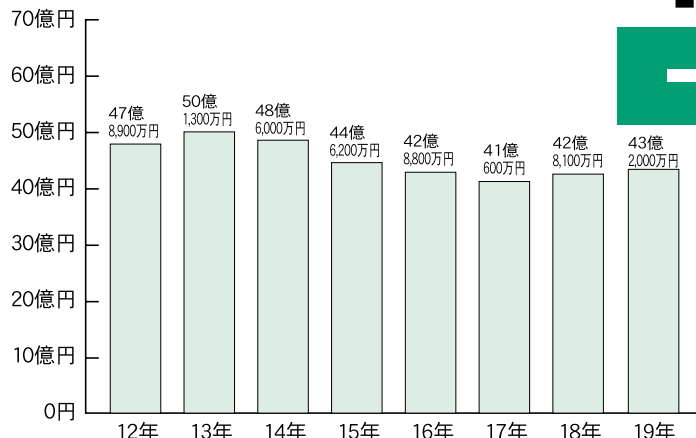
家計にたとえた場合	
13万7,097円	食費
11万3,638円	ローンの返済
3万 987円	家庭の医療費など
5万2,373円	生計を別にしている家族への仕送り
9万7,334円	自宅の増改築・修繕費
9万 492円	区費などの各会費や交際費
6万6,368円	光熱費など
58万8,288円	



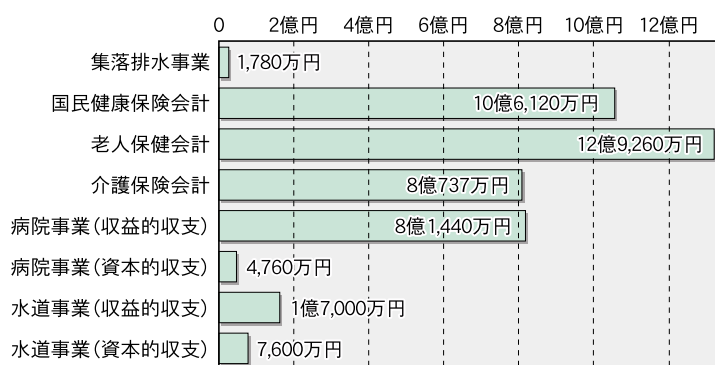
平成19年度

一般会計当初予算

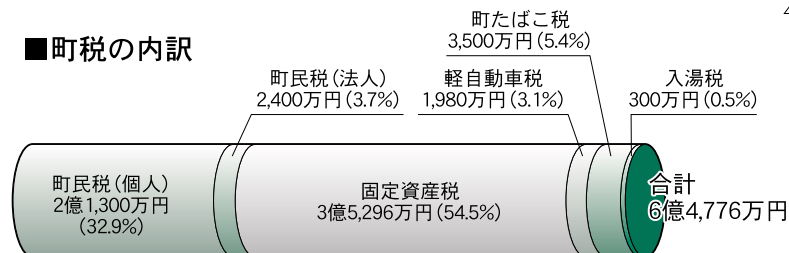
■一般会計当初予算の推移



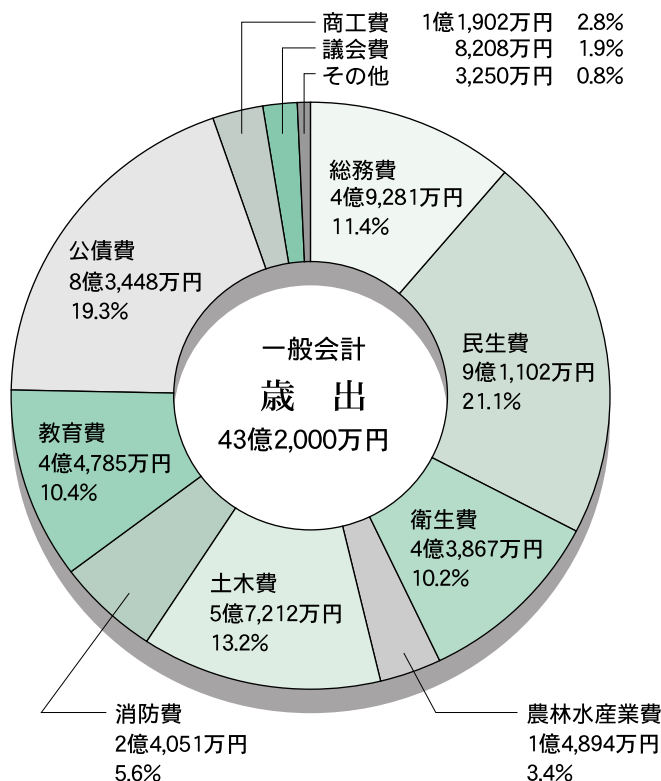
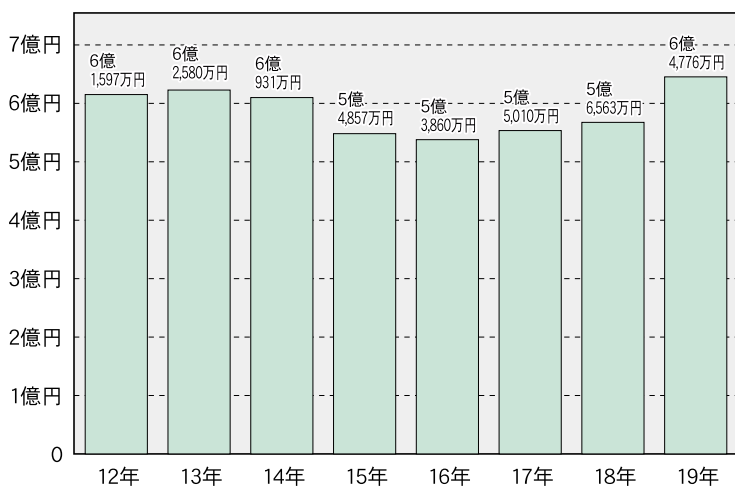
■特別会計・企業会計当初予算



■町税の内訳



■町税当初予算の推移



☆朝日町の財政状況をわかりやすくするため

○町税・地方交付税などを年収500万円（月収41万円）

歳入

平成19年度一般会計予算額	
町税・地方交付税など	30億5,997万円
うち町税など	7億 337万円
うち地方交付税など	23億5,660万円
繰入金・財産収入など	3億 42万円
国・県支出金	4億7,761万円
町債	4億8,200万円
収入計	43億2,000万円

歳出

平成19年度一般会計予算額	
人件費	10億 675万円
公債費	8億3,448万円
扶助費	2億2,755万円
繰出金	3億8,459万円
投資的経費・維持補修費	7億1,476万円
補助費等・投資及び出資金・貸付金	6億6,451万円
物件費など	4億8,736万円
支出計	43億2,000万円

町職員 人事

4月1日付けで町職員の人事異動が行われました。人口一万人復活に向けた具体的施策「朝日町定住促進ビジョン」（詳細は、4月2日に配布した平成19年度朝日町予算説明書の9、10ページをご覧ください）が昨年度策定され、それを実現すべく、町の将来を担う人材の育成、安全・安心で快適な地域づくり、町民とともに進める協働の町づくり、豊かな生活を実現する産業振興など、重要施策への対応に配慮した内容となっております。

組織機構の具体的な見直しについては、第5次朝日町総合発展計画を年度内に策定するため、政策推進課内に課長級の「主幹」職が新たに配置されたほか、同課内に「計画係」が新設されます。また、公共施設などの町有財産を効率かつ適正に管理し長寿命化を進めるため、総務課内に「管財係」を新設。地方自治法の改正に伴い、収入役が廃止され、一般職の会計管理者が置かれ、出納室長を兼務します。

管理職をはじめ女性の登用が積極的に行われたほか、県との連携強化を図るため職員の相互交流が実施されます。

職員数は、定員管理計画に基づく職員体制を維持していくため、新規採用は一般職1人（医師及び国や県との相互交流の分を除きます）とし、対前年度当初比で増減なしの172人（嘱託職員、英語指導助手を除きます）となります。なお、今年度の職員体制は次のとおりです。

三役



町長
鈴木 浩幸

副町長（※）
高橋 康則

教育長
長岡 重利

※地方自治法の改正に伴い、4月1日から「助役」の呼称が「副町長」に変更されました。

総務課 13人

☎（67）2111



課長
最上俊一郎

課長補佐
阿部 弘美

課長補佐
川口 幸男

行革推進係
係長（兼）
川口 幸男

庶務係
係長
高取のぶ子
主任
菊地早百合
主事
佐竹 秀文
主事
長岡 季代

防災係（危機管理担当）

係長（兼）
阿部 弘美
主事
伊藤 雅樹
交通安全専門指導員（嘱託職員）
鈴木 明美

財政係（行政評価担当）

係長
阿部 正文

主任
阿部 容一

主査兼係長
西田 和之

用務員
阿部 信行

課付主任
遠藤 憲一

県政策企画課へ派遣
主任
小野 康仁

選挙管理委員会

☎（67）2111

書記長（兼）
最上俊一郎

書記（兼）
川口 幸男

書記（兼）
高取のぶ子

書記（兼）
菊地早百合

書記（兼）
佐竹 秀文

書記（兼）
長岡 季代

政策推進課 10人

☎（67）2112



課長
富樫 清志

主幹
菅井 和広

課長補佐
清野 直治

課長補佐
清野 雅英

課長補佐
渡辺 政一

計画係
係長（兼）
清野 直治

戦略推進係
係長
千野 武雄

主任
早坂 健一

定住対策係
係長
松田 勝美

地域情報係
係長（兼）
清野 雅英

主任
鈴木 滝子

税務町民課 12人

課長
成原 孝一

課長補佐
清野 正幸

課長補佐
井上智恵美

町民税係
係長（兼）
井上智恵美

主任
伊藤 淳

主事
阿部 祐子

固定資産税係
主査兼係長
長岡 利光

主査
阿部由美子

主事
海野 裕喜

戸籍年金係
主査兼係長
柴田 智子

主任
鈴木 直美

主任
阿部 正樹

生活環境係
係長（兼）
清野 正幸

課付主任
鈴木 高敏

健康福祉課 17人

課長
熊谷 貞則

課長補佐
鈴木 康宏

課長補佐
佐竹 壽美

課長補佐
佐竹 長司

福祉係
係長
畑 英俊

副主査（保健師）
鈴木 文子

主事
麻未

子育て支援係
係長（兼）
佐竹 長司

主任
藤沢 美子

健康推進係
主査兼係長
今野 智子

副主査（保健師）
加藤 静代

保健師
木村 朋恵

管理栄養士
古瀬久美子

地域包括支援センター
主査兼係長
村山 敏子

主任
伊藤 博美

主任
太田 律

保険給付係
係長（兼）
佐竹 壽美

主任
齊藤ひとみ

主事
熊谷 忍

さゆり保育園 6人

園長
海野優恵子

副主査（保育士）
白田 清子

副主査（保育士）
菊地 千代

保育士
本間 真紀

調理師
熊谷 由香

園付保育士
佐藤 弘美

ふたば保育園 5人

園長
阿部 幸子

主任（保育士）
熊谷三枝子

保育士
小鹿 幸子

保育士
清野 典子

子育て支援センター
係長（兼）
阿部 幸子

保育士
村井美恵子

わかば保育園 4人

園長
大井 恵子

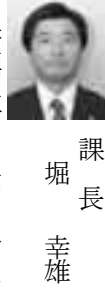
副主査（保育士）
松田 敬子

副主査（保育士）
菅井 睦子

調理師
武田クニ子

産業振興課11人

農林 〆(67) 2114
菅 〆(67) 2113



課長補佐 堀 幸雄
課長補佐 長岡 信之
課長補佐 白田 久寿

主査兼係長 三浦 浩一
主事 海野 淳

係長 長岡 勉
主事 安藤 正人

産業促進係
係長 鈴木 良浩
主任 阿部 忠之

商工観光係
係長 高橋さだ子
主任 佐藤 修

農業委員会2人
事務局長(兼)堀 幸雄
主査兼係長 菊地 洋一

農地調整係
副主査 高取 照子

建設水道課10人
建設 〆(67) 2115
水道 〆(67) 3570



課長 鈴木 清
課長補佐 阿部 則雄
課長補佐 大谷 武一

管理係
係長(兼) 阿部 則雄

主任 伊藤 真一
主任 近衛 智之

整備係
係長(兼) 大谷 武一

水道係
主任 鈴木 勝
技術士 海藤 繁幸

係長 鈴木 俊治
主事 長岡 昭博

町立病院 49人
〆(67) 2125

院長(内科) 小林 達
副院長(外科) 櫻井 文明

副院長(内科) 高橋 潤
医長(内科) 大滝 雄造

事務局長 安藤 一夫
総看護師長 長岡 浩子

外科外来主任 佐藤久美子
内科外来主任 児珠はつえ

看護師 若月 裕美
看護師 布施 智子

看護師 長岡 千恵
看護師 卯野留美子

看護師 鈴木 弘子
准看護師

准看護師 鈴木 弘子

准看護師 鈴木 弘子

准看護師 長岡ひとみ

看護師長 鈴木恵美子
病棟主任 安藤由紀子

主任 白川由美香
主任 鈴木 幸代

主任 鈴木 正子
主任 大江 一子

主任 鈴木美保子
主任 大竹 由理

看護師 野口小夜子
看護師 遠藤 美香

看護師 榎 友子
看護師 小野 晶子

看護師 大泉かおり
看護師 長岡 史織

看護師 内藤 清華
看護師 舟山 舞

看護師 鈴木 綾子
看護師 佐藤かおり

在宅医療相談室
在宅主任 佐藤みどり

看護師 瀬尾美智子
看護師 関根 愛

薬局
薬剤師 今井 聡美

X線室
技師長 葛浦 潤司

調理師 阿部 玲子
調理師 鈴木 和子

事務室
事務長補佐 佐藤 敏行

庶務係
係長(兼) 佐藤 敏行

医事係
主査兼係長 花山 護

議会事務局2人
〆(67) 3306

局長補佐 小川 澄夫
庶務係 長岡 茂

監査委員会
書記(兼) 小川 澄夫
書記(兼) 長岡 茂

出納室 2人
〆(67) 3301

室長(兼) 佐藤 伸寛
主事 伊藤 由佳

整塾 教育文化課12人
養育 〆(67) 3302
養育 〆(67) 2118

課長 若月加代子

課長 若月加代子

課長 若月加代子

課長 若月加代子

主幹 富樫 誠

課長補佐 長岡 典巳

課長補佐 橋間 友則

課長補佐 阿部喜栄治

学校教育係
係長(兼) 阿部喜栄治

主事補 五十嵐真理子
英語指導助手 ハトリリツ子

教育研究所
事務局長(兼)富樫 誠

生涯学習係
係長(兼) 橋間 友則

主任 齋藤 文子
主任 安達 和史

主任 白田 征治
業務員 近衛美智永

文化振興係
係長 小関 典子

主任 岡崎 国宏
主任 鈴木 治郎

町民文化センター
五十嵐武喜

西部公民館2人
〆(67) 2208

調理師 安藤 孝子
調理師 松田 篤子

和合小学校2人
〆(67) 2302

用務員 鈴木 敏一
調理師 渡辺真由美

大谷小学校3人
〆(68) 2011

用務員 渡辺 忍
調理師 遠藤 房子

大沼分校1人
〆(68) 2049

用務員 白田 幸子
調理師 幸子

朝日中学校1人
〆(67) 2123

用務員 滝川 芳巳

新規採用者(4月1日付)
医師 大滝 雄造

事務職員 千野 武雄
事務職員 (県より派遣)

事務職員 海野 淳
事務職員 (農林水産省より)

事務職員 安藤 正人
事務職員 (元町)

退職者(3月31日付)
助役 丸山 潔
退職者(3月31日付)
議長 池田 伸一

町の機構改革に伴う「係」の新設や所管替えにより、各行政サービス窓口にも変更がありました。ここでは特に、町民のみなさんに関連のある業務を、担当部署毎に紹介します。

総務課

行革推進係

- ① 行財政改革の推進

庶務係

- ① 褒章、及び儀式
- ② 条例、規則の改廃、法令審査会
- ③ 職員の人事管理
- ④ 庁舎、開発センター等の管理

防災係（危機管理担当）

- ① 消防団
- ② 災害救助・山岳遭難
- ③ 交通安全
- ④ 交通災害共済
- ⑤ 防災・防犯
- ⑥ 自衛官募集
- ⑦ 日本赤十字社



財政係

- ① 予算の編成・執行
- ② 行政評価

管財係（新）

- ① 町有財産の管理
- ② 法定外公共物の管理

政策推進課

計画係（新）

- ① 第5次総合発展計画策定
- ② 小学校跡地利用

戦略推進係

- ① 町の総合企画
- ② 区長会
- ③ 総合交通対策
- ④ 広域行政
- ⑤ 協働のまちづくり
- ⑥ 食育計画の策定
- ⑦ 頑張る地方応援プログラム
- ⑧ コミュニティ助成事業
- ⑨ 志藤六郎村おこし基金
- ⑩ 土地利用対策の計画・規制

定住対策係

- ① 定住対策
- ② 結婚対策
- ③ 男女共同参画の推進
- ④ エコミュージアム
- ⑤ 国際交流



地域情報係

- ① 情報通信基盤整備・普及促進
- ② 電子情報のセキュリティ対策
- ③ 町ホームページの運営管理
- ④ 広報・広聴活動
- ⑤ 広報委員会
- ⑥ 行政情報の収集及び提供
- ⑦ 女性井戸端会議
- ⑧ 統計業務

税務町民課

町民税係

- ① 町県民税の賦課徴収
- ② 法人町民税の賦課徴収
- ③ 軽自動車税の賦課徴収
- ④ 入湯税の賦課徴収
- ⑤ たばこ税の賦課徴収
- ⑥ 国民健康保険税の賦課徴収
- ⑦ 介護保険料の賦課徴収
- ⑧ 所得調査
- ⑨ 申告相談
- ⑩ 滞納（未納）処分
- ⑪ 口座振替
- ⑫ 異議申し立て
- ⑬ 各税の減免



固定資産税係

- ① 固定資産税の賦課徴収
- ② 土地、家屋、償却資産の評価
- ③ 町有な義土地の使用料
- ④ 公図の管理、閲覧
- ⑤ 異議申し立て
- ⑥ 固定資産税の減免

戸籍年金係（総合窓口）

- ① 戸籍及び住民票謄抄本・印鑑証明書ほか諸証明の交付
- ② 各税等の諸証明の交付
- ③ 出生届・婚姻届・死亡届・など戸籍の諸届
- ④ 転入・転出・転居・世帯主変更等住民基本台帳異動届
- ⑤ 国民健康保険・国民年金資格取得、喪失届
- ⑥ 外国人登録及び証明
- ⑦ 住民基本台帳カード・公的個人認証
- ⑧ 国民年金の裁定請求、保険料免除申請、年金相談

生活環境係

- ① ごみ収集
- ② 路線バスの運行
- ③ 公害対策
- ④ 狂犬病予防
- ⑤ 墓地
- ⑥ 衛生組合



健康福祉課

福祉係

- ① 生活保護
- ② 民生児童委員
- ③ 敬老事業
- ④ 戦傷病者・戦没者遺族の援護
- ⑤ 高齢者生産活動センター（いもがわ温泉）
- ⑥ 介護保険の認定及びサービス
- ⑦ 介護保険被保険者証
- ⑧ 高額介護サービス費の支給
- ⑨ 福祉サービス
- ⑩ 身体障害（児）者福祉
- ⑪ 知的障害（児）者福祉
- ⑫ 精神障害者の福祉

子育て支援係

- ① 児童福祉
- ② 児童手当
- ③ 母子、父子家庭の福祉
- ④ 児童の虐待防止
- ⑤ 保育の実施
- ⑥ 保育料
- ⑦ 特別保育
- ⑧ 保育園の入退園
- ⑨ 乳幼児の医療受給者証
- ⑩ 母子家庭等の医療受給者証
- ⑪ 重度心身障害者の医療受給者証



健康推進係

- ① 感染症
- ② 健康日本21
- ③ 精神保健福祉
- ④ 結核検診
- ⑤ 保健事業（人間ドック・ミニドック・がん検診他）
- ⑥ 母と子の健康教育・乳幼児健康診査・妊婦健康診査
- ⑦ フッ素塗布・フッ素洗口
- ⑧ 予防接種
- ⑨ 献血
- ⑩ 栄養教育・相談
- ⑪ 食生活改善推進事業
- ⑫ 保育園の献立作成
- ⑬ 食育の推進
- ⑭ 健康づくり

地域包括支援センター

- ① 高齢者家庭の支援
- ② 介護予防事業
- ③ 介護予防サービス計画
- ④ 元氣クラブ事業
- ⑤ 紙おむつ支給
- ⑥ 高齢者の虐待防止
- ⑦ 総合相談



1階総合窓口

保険給付係

- ①国民健康保険被保険者証
- ②老人保健医療受給者証
- ③コルセット等の補装具代支給
- ④高額療養費（医療費）の支給
- ⑤入院時の食事代減額認定
- ⑥学生・出稼ぎ等の保険証

産業振興課

農政係

- ①中山間地域等直接支払制度
- ②農作物の災害対策
- ③農作物振興
- ④安全・安心農産物生産流通体制整備
- ⑤農業制度資金
- ⑥農業経営改善支援センター
- ⑦町単独事業補助金
- ⑧地産地消
- ⑨水産業の振興
- ⑩水田農業構造改革対策
- ⑪農業生産団体、農業後継者新規就農者の指導育成
- ⑫農業指導業務定例会の開催
- ⑬堆肥センターの運営支援及び畜産振興
- ⑭園芸関係補助事業
- ⑮植物防疫
- ⑯環境保全型農業の推進
- ⑰経営所得安定対策



事業係

- ①農業農村整備備時事業の調査・計画
- ②土地改良事業

- ③地すべり防止区域の管理
- ④農林業施設等の災害復旧事業
- ⑤森林整備及び森林施業
- ⑥森林整備地域活動支援交付金
- ⑦緑のプレゼント
- ⑧緑の募金
- ⑨有害鳥獣駆除及び飼養許可
- ⑩治山事業
- ⑪普通共用林野
- ⑫農地・水環境保全向上対策
- ⑬みどり環境交付金事業

商工観光係

- ①商工団体の指導育成及び商店街の振興
- ②商工業融資制度
- ③事業振興協議会
- ④勤労者福祉
- ⑤消費者行政
- ⑥計量器
- ⑦観光に関する情報発信
- ⑧朝日町観光協会
- ⑨大沼浮島・朝日自然観・最上川・山岳の観光振興
- ⑩りんごの樹オーナー制度
- ⑪各種イベント（空気のまわり・溪流まつり・ワインまつり・雪まつり・産業まつり）
- ⑫グリーンツーリズム



産業促進係

- ①産業戦略会議
- ②起業支援
- ③企業誘致
- ④特産品の開発及び販路拡大
- ⑤農村づくり事業
- ⑥雇用対策

農業委員会

- ①農地の権利移動及び転用
- ②農作業標準賃金及び標準小作料
- ③農業者年金

建設水道課

整備係

- ①道路、河川、交通安全施設等の調査・工事
- ②砂防、地すべり及び急傾斜地等の防災事業
- ③道路、河川等の災害復旧事業
- ④住宅団地の整備・販売促進
- ⑤建築基準法に基づく申請、進達
- ⑥木材製品利用住宅建築奨励助成

管理係

- ①道路及び河川等の維持管理
- ②町道等の除雪
- ③町営住宅（清水ハイツ、みどりハイツ）の管理
- ④排水路の調査及び整備計画
- ⑤緑ヶ丘公園及び朝日川公園の維持管理
- ⑥合併処理浄化槽設置事業の普及推進



水道係

- ①水道料金
- ②水道給水工事
- ③水道の開始・休止・廃止
- ④大谷地区集落排水処理場の維持管理及び運営
- ⑤大谷地区集落排水処理施設使用料

町立病院

- ①外来診療（内科・外科・整形外科・眼科）
- ②入院診療
- ③二次検診
- ④在宅医療（訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ）
- ⑤ケアプラン作成
- ⑥通所リハビリ
- ⑦北部診療所診療



議会事務局

- ①議会傍聴
- ②請願、陳情及び意見書

出納室

- ①出納事務

教育文化課

学校教育係

- ①教育委員会及びその他の教育機関の職員の任免並びに学校職員の人事
- ②叙位、叙勲、褒章及び教育功労者その他の表彰
- ③朝日町育英会
- ④児童生徒の就学
- ⑤教職員及び児童生徒の保健衛生及び福利厚生
- ⑥教育財産の管理
- ⑦学校給食
- ⑧英語指導助手
- ⑨教科用図書採択及び無償配布

生涯学習係

- ①生涯学習の推進
- ②生涯学習情報の収集・提供
- ③家庭教育
- ④青少年教育
- ⑤高齢者教育
- ⑥成人教育
- ⑦自治公民館活動の推進
- ⑧視聴覚教育
- ⑨体育施設の運営
- ⑩体育指導委員会
- ⑪スポーツ教室や各種大会の開催
- ⑫町体育協会
- ⑬スポーツ少年団の育成

文化振興係

- ①文化財の保護・調査
- ②町史編さん
- ③芸術文化の推進
- ④芸術文化団体の育成
- ⑤芸術文化祭
- ⑥ホール事業
- ⑦ギャラリー展示
- ⑧図書館の管理運営
- ⑨図書資料収集・展示
- ⑩女性教育
- ⑪放課後子どもプランの推進
- ⑫西・北部公民館
- ⑬公民館等施設の管理運営
- ⑭各講座学級等の企画運営
- ⑮各種関係団体との連携



朝日町光ブロードバンド開通式（3月26日／創遊館ホール）

県内唯一 町内全域にいいよ開通

総事業費およそ3億2千万円を投じて町が整備してきた超高速通信回線（光ファイバ網）の工事がこのほど終了し、その開通を祝う記念式が3月26日、創遊館ホールで開催されました。式典には、総務省東北総合通信局の井筒郁夫局長を始め、多くの来賓者や関係者など約150人が出席し、開通を祝いました。

当町のような中山間地域に

おける情報網の整備は、都市部と比較し思うように進んでいかないのが現状で、その結果、都市と地方だけでなく同じ町内における地域間の情報格差が、大きな課題となっていました。

今回、町内55の全集落に敷設された光ファイバケーブルの総延長は約90キロメートルにおよび、県内で唯一、全世界帯等しく光ブロードバンドを

利用できる環境が整ったことになりました。併せて、役場や病院、学校といった12の公共機関を結ぶ強固なネットワークも構築され、在宅療養者への遠隔医療など保健・医療・福祉サービスの始め、映像配信や学校教育の支援、災害時の情報発信など、町民への各種行政サービスの提供が可能になりました。

さらに、この光ファイバ網

は、携帯電話



光電話で結ばれた式典会場と白田進さん宅



映像配信された大沼分校児童による浮島太鼓

話不感地域の解消や地上デジタル放送の難視聴対策にも活用が見込まれており、これらの豊かな情報化社会で住民の快適な生活空間が実

現されるほか、定住対策や企業誘致にもつながる、町にとって夢の広がる一大プロジェクトと言えます。

式典では、鈴木町長を始め関係者ら7人による記念のテープカットが行われた後、井筒局長が「町内全戸を対象にした他にあまり例のない先駆的な事業。全国の自治体にとってモデルになることは間違いない。今後の利活用に期待します」と祝辞を述べました。

また、光通信の速さを会場の方から体験してもらおうと、学校教育支援システムを利用した大沼小学校大沼分校の児童たちによる浮島太鼓の映像配信や、遠隔医療システムを利用した町立病院の小林達院長との会話、町民を代表し白田進さん（大谷一）宅と会場をつないだ光電話による試験通話なども披露されました。



光ファイバケーブル



楽しく生きる

「大変だ」「困った」「どうしよう」。そんな時、ふと意識を自分の内から外へ移してみると、これが案外「生きている実感」に直面している時が往々にしてあるものです。普通に、順調に暮らしていた時には気付かない、胸を押しつけられるような苦渋に満ちた困惑が、人間を

一回りも二回りも大きく成長させるきっかけになっている時があるものです。そこから逃げるか、立ち向かうか。ここが大きな分かれ目です。人間、逃げて逃げて逃げ切れることなど、そうそうできることではありません。後から後から手を変え品を変え、いつまでもいつまでも追ってきます。この労力たるや、計りし

れないものがあるのです。それに引き換え、どんなに辛く大変なことであつとも、現実から目を逸らすことなく、じつと則を見つめ勇気をもって一歩を踏み出すこと。これが以外に、思ったよりもすんなりと物事が解決し、順調に進むことがあるものです。楽しく生きる。人生が充実しているかどうか見分ける方法。それは、

自分のやっていることが楽しいかどうか。もし仮に今やっていることが楽しくないことであつたとしても、楽しくする工夫はできるのです。自分の今を楽しんでいる状態に保つこと。前向きな積極的な考え方・行動こそが、楽しく生きる源かもしれません。

朝日町長 鈴木浩幸

副町長に高橋康則氏

就任のあいさつ

山形市出身 49歳

●職歴

平成3年4月～ 企画調整部企画調整課主査
平成5年4月～ 同部企画課主査
平成7年4月～ 総務部生涯学習・学事課主査
平成8年4月～ 文化環境部学事振興課企画主査
平成9年4月～ 同部文化振興課文化政策主査
平成10年4月～ 同部文化振興課企画主査
平成11年4月～ 企画調整部企画調整課企画主査
平成14年4月～ 商工労働観光部商業振興課課長補佐
平成17年4月～ 総務部改革推進課課長補佐
平成18年4月～ 同部改革推進室改革推進課副主幹(兼)課長補佐



皆様、こんにちは。この4月に副町長に就任いたしました高橋康則です。私はこの3月までの26年間、県職員として県の総合計画の策定や行財政改革などに携わってきました。この経験を生かし、今後は朝日町発展のため、町長の補佐役として、微力ですが誠心誠意職務に励んでいきますので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

少子高齢化や人口減少社会など、私たちがこれまでに経験したことのない大きな社会の転換・変革期に直面しています。この時代を切り拓いていくためには、地域の皆さんの英知を結集し共に行動を起こしていくことが大切だと考えています。

朝日町には、朝日連峰や最上川といった大自然、そして皆さんが大切に育んできた文化など様々な資源があります。この資源を大切にそしてさらに磨き上げ、外に向かって発信していきましょう。皆さんと共に行動を起こしていきたいと思いますので、見かけた際にはぜひ声をかけてください。お待ちしております。

ご支援とご指導に感謝

退任のあいさつ



前助役 丸山 潔

平成17年4月に鈴木町長の初代助役として就任してから、早いもので2年の月日が経ちました。この間、「やる気と挑戦」のスローガンのもと、町の輝く未来を見据え、町政運営に日々まい進される町長の補佐役として無我夢中で過ごす毎日でありました。町民待望の「新明鏡橋の開通」を始め、「光ブロードバンドの開通」や「協働による自然観グラウンドゴルフ場整備」、「大船木地区の地すべり」や「平成18年豪雪」への対応など、朝日町の歴史に残る様々な出来事に関わることができ、私としても生涯忘れ得ぬものとなっています。その時々において役割を充分果たしえたのかと思うと汗顔の至りですが、何とか職務遂行ができたのは、皆様のご指導とご支援の賜物であります。厚く御礼申し上げます。

4月からは県に復帰し観光振興部門に参りますが、この2年間の経験を踏まえ頑張っていく所存です。

最後に、皆様の益々のご活躍、朝日町の更なる発展を心から祈念申し上げ、退任のあいさつといたします。ありがとうございました。



定例議会

3月定例議会が6日から8日間の日程で開かれ、町有施設整備管理積立金に3,000万円、町民体育館アリーナ床改修工事に926万円などが増額される反面、地域情報化推進事業費が5,660万円減額されるなど、歳入歳出それぞれから2,930万円を減額する一般会計補正予算など、次の31議案が審議、可決されました。

◆平成18年度補正予算◆

- ①朝日町一般会計。歳入歳出それぞれから2,930万円を減額し、予算総額44億3,090万円とする。
- ②朝日町国民健康保険特別会計。歳入歳出それぞれから4,353万円を減額し、予算総額9億8,242万1千円とする。
- ③朝日町介護保険特別会計。歳入歳出それぞれから245万8千円を減額し、予算総額7億8,313万1千円とする。
- ④朝日町病院事業会計。資本的収入から2,391万9千円を減額し、予算総額2,900万円とする。また、収益的収入支出それぞれに50万円を追加し、予算総額8億1,810万円とする。

【以上4項目原案可決】

◆平成19年度予算◆

- ①一般会計
- ②集落排水事業特別会計
- ③国民健康保険特別会計
- ④老人保健特別会計
- ⑤介護保険特別会計
- ⑥病院事業会計
- ⑦水道事業会計

【以上7項目原案可決】

◆条例等の制定◆

- ①地方自治法の一部改正による朝日町副町長の定数を1人とする条例。
- ②町の総合交通体系の見直しによる朝日町町民バス等（町民バス及び地域タクシー）の設置及び管理に関する条例。
- ③新規に認定される町道の道路整備に関し、その事業の一部経費として受益を受ける者から分担金として徴収する、朝日町道路

整備事業分担金徴収条例。

- ④朝日町豊龍の丘公園の設置及び管理に関する条例。
- ⑤地方自治法の一部改正による関係条例の整理に関する条例。
- ⑥町長はじめ常勤の特別職の給料を削減するため、朝日町特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正する条例（表1）。
- ⑦教育長の給料を削減するため、朝日町教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例（表1）。
- ⑧職員の期末勤勉手当を削減、扶養手当の見直し、通勤手当を削減するため、朝日町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。
- ⑨町の財政事情を、幅広い手段で町民に公表するため、朝日町財政事情書の作成及び公表に関する条例の一部を改正する条例。
- ⑩町有施設の建設や大規模改修に備えるため、朝日町庁舎建設・維持管理基金条例の一部を改正する条例。
- ⑪WTO農業交渉等の影響による畜産物情勢の変化に対処するため、その用途を広く畜産振興のために使用できるよう、朝日町増肥センター維持管理基金条例の一部を改正する条例。
- ⑫創遊館等の施設使用料及び各種手数料を改正するため、

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例。

- ⑬国民健康保険税医療分の課税限度額を変更するため、朝日町国民健康保険税条例の一部を改正する条例。
- ⑭水道の開始、休止、廃止の業務を民間委託するため、朝日町水道事業給水条例の一部を改正する条例。
- ⑮議員定数の変更（16人→12人）に伴う2つの常任委員会の定数の変更（それぞれ8人→6人）と、新たに議会広報常任委員会を設置するなど、朝日町議会委員会条例の一部を改正する条例。
- ⑯委員会も議案を提出できるようになったことから、委員会の議案提出の手続き等について規定を設ける、朝日町議会会議規則の一部を改正する規則。

【以上16項目原案可決】

◆意見書の提出◆

- ①道路整備の財源確保を国に求める意見書の提出。
- ②日本農業に大打撃を与えかねない日豪EPA（経済連携協定）交渉に、厳しい判断を持って臨むことを国に求める意見書の提出。

【以上2項目原案可決】

◆その他◆

- ①地方自治法の改正で、収入役制度及び吏員制度が廃止され、会計管理者を置くものとされたことに伴う規定整備のため、山形県市町村職員退職手当組合規約の一部変更。
- ②高橋康則氏を朝日町副町長に選任する。 【同意】

（表1）特別職等の給料月額

●朝日町特別職（期間：H19.4.1～H20.3.31）

職名	給料月額	
	条例上の金額	現行の金額
町長	820,000円	735,000円
副町長	635,000円	600,000円

●朝日町教育長（期間：H19.4.1～H20.3.31）

職名	給料月額	
	条例上の金額	現行の金額
教育長	575,000円	550,000円

阿部賢一氏が4期目の当選 山形県議会議員選挙



3月30日に告示された山形県議会議員選挙の西村山郡区で、地元朝日町の阿部賢一氏（今平・54歳）が、無投票で4期目の当選を果たしました。

阿部氏は、「3期連続の無投票当選ということで、逆に責任の重さを感じている。4年前と比べても少子

高齢化や格差社会の進展が感じられるが、それらを解消することが県政の課題だと思っている。今こそ、政治の力を求めている弱い立場の方々などに一層耳を傾け、健康で暮らしやすい地域づくりに全力で取り組んでいきたい」と抱負を語ってくれました。

町政報告

■朝日町定住促進ビジョンを策定

定住促進に向け取り組むべき課題と対応策を体系的にまとめた「朝日町定住促進ビジョン」を策定。今後はこの施策の着実な実施を図り、人口一万人復活構想の実現を目指す。

■総合交通体系を直直し

町民バスの利便性向上と効率的な運行体制の観点から、スクールバスへの町民バスとスクールの重複運行路線の解消を図る。また、町民バスの未運行地区については、新たに地域タクシーを運行。

■光ファイバ網の敷設完了

3月15日に北部地区、3月26日に中・西部地区が開通。今後一層の加入促進を図り、普及・活用に向け取り組む。

■戸籍事務の電算化が完了

県内自治体では12番目の稼働。戸籍謄本などの発行時間短縮など、住民サービスの向上に期待。

■税の徴収率県内1位

平成17年度の国保税を除く各市町村税の徴収率が公表され、98・5%で県内1位。

■米寿67人、百歳以上5人

今年米寿を迎えた67人と、百歳以上の長寿者5人に賀詞を贈呈。

■朝日町保育園検討委員会を立ち上げ今後の方向性を検討

町民各層から選定した10人の委員でこれまで2回の委員会を開催。保育園としての適正規模のあり方や運営形態について今年9月頃をめどに、意見を取りまとめ町長に報告する予定。

■りんごの海外輸出、台湾・タイへ

昨年までの台湾への輸出に加え、はじめてタイへ輸出。消費者、百貨店関係者等の評価も高く、今後とも継続して輸出を行い農家収益の増加に努める。

■暖冬の影響等により朝日自然観の売上げ減が懸念

上半期は若干の売り上げ増で推移したもの、暖冬の週末の天候

不順が売り上げに多大な影響。冬季以外に安定収入を確保できる、雪に影響されない経営安定方策を目指す。

■（有）朝日町ワインの自社製品 検査の結果問題なし

福島県国見町から委託を受けて製造した桃のブランドから基準値を上回るメタノールが検出された件で現時点では原料である桃の果汁（国見町で製造）に原因があったもよう。朝日町ワイン自社製品のワイン・ブランドなどは検査の結果問題なし。

■主要地方道長井大江線の大船木地内災害復旧工事は、

8月上旬の完成予定

今年3月の完成予定が1月1日発生した吹付け法枠の全面崩落により年度内の供用開始が不可能となり、道路復旧工事については8月上旬の完成予定。

■入院患者増 外来患者減

町立病院の患者数は、昨年同期と比し、入院患者数が705人増加するも、外来患者数は減少。

■それぞれの学年を卒業

平成18年度の町内小学校卒業生は81人、朝日中学校卒業生は92人。

◎町への寄付採納報告

▼カーブミラー4基

さがえ西村山農業協同組合（今田正夫代表理事組合長）及び全国共済農業協同組合連合会山形県本部（遠藤芳雄運営委員会会長）から



▼児童用図書99冊
（113,049円）
阿部宗一郎さん
（常盤）から
西五百川小学校へ



▼図書管理システム一式（285,000円）
石川トキエさん
（寒河江市／前大谷小学校長）から
大谷小学校へ

▼福祉寄付金として金員50万円

大高たけさん（夏草）から

▼芸術文化振興寄付金として金員10万円

小林たにさん（寒河江市）から

▼交通安全幟旗100枚

（財）東北特定郵便局長協会から



朝日中入学式
(4月6日／朝日中学校)

まちの話題



女性井戸端会議
(3月14日／開発センター)

美しい農村づくりプロジェクト「超ビッグ鼎談」(3月24日／若宮寺)



棚田の魅力を語る中島氏(右端)の話に聞き入る参加者たち

椹平の棚田は朝日町の宝

朝日町の農村を元気にする勉強会が3月24日、

八ツ沼の若宮寺で開催されました。村山総合支庁が主催したもので、町内外から約70人が参加。景観を重視した農村づくり活動では全国で第一人者と言われる中島峰広氏、青柳健二氏、岡田文淑氏の3人を講師に迎え、^{ていだん}鼎談形式で進められました。

「美しい農村とは何か？その神髄に迫る」というテーマの下、3氏それぞれの実践に基づいた興味深い話がスライドや写真などを交えて展開され、参加者たちはじっくりと聞き入っていました。

中でも「こんなすばらしい椹平の棚田、朝日町の宝です」と語った中島氏。地元の人ほど気付かない地元の良さを再認識するきっかけづくりにもなった今回の企画。有意義な勉強会となりました。

送筆会 今シーズン締めくく (3月31日／送橋公民館)

筆を走らせ今年で17年

「のし袋にぐらい自分で名前を書けるようになりたいね」と、送橋の高齢者たちが地元の公民館を拠点に送筆会(渡辺秀雄会長)を発足させたのが平成3年2月。地元の小学校の先生を講師に招き、段取りを目的とはしない冬期間の活動として、これまで毎年行われてきました。現在の会員数は65歳から88歳までの男女9人。

「みんなで顔を合わせるのがとても楽しみ」と語ってくれたのは相座いちのさん。今期最後となったこの日は、思い思いの言葉を色紙に書き上げ締めくくりました。



統一地方選挙提言表彰式 (3月31日／霞城セントラル)

最優秀賞に鈴木久美子さん

《わたしたちのまちと選挙》をテーマに、まちの将来を大きく左右する選挙の重要性を呼びかける提言募集で、鈴木久美子さん(本町)の作品が見事最優秀賞に輝きました。統一地方選挙の公示日を前に、県選挙管理委員会が広く県民に募っていたもので、応募総数210点の中での選考です。

提言の中で鈴木さんは、寝たきりだった祖母でも欠かさず投票には足を運んでいた例を挙げ、一票の大切さを訴えています。



表彰を受ける鈴木さん(中央)

■第2回西部キッズレクリエーション大会(3月21日／健康増進センター)／参加者130人
▽小学生低学年の部①海野静哉(八ツ沼) ②白川直樹(松程) ③長岡留未(松程)
▽小学生高学年の部①阿部駿(常盤) ②阿部将大(松

谷
③上郷C
▽Dブロック
ク①栄町
②四ノ沢・
新宿③助
ノ巻・雪
■中部子ども会綱引き大会(3月21日／町民体育館／チーム数18)
▽Aブロック①和合A②上郷A③元町▽Bブロック①上郷B②和合B③西町▽Cブロック①前田沢②和合C

(○内数字は順位)
■西部青年教室フットサルde交流会(3月11日／健康増進センター／チーム数6)
①モンデミロFC A(佐藤高章代表) ②朝日相扶A(横山篤史代表) ③モンデミロFC B(安藤正人代表)
■中部子ども会綱引き大会(3月21日／町民体育館／チーム数18)

各種大会の成績

朝日の地酒まつり

(3月17日／朝日自然観)

「豊龍」をPRする初めての企画

地元の蔵で仕込まれた日本酒のPRと、愛飲者たちへの感謝の意を込めたイベント「朝日の地酒まつり」が3月17日、朝日自然観を会場に初めて開催されました。町内外から55人が参加。鈴木酒造(資)(鈴木和香子社長)で仕込まれた地酒「豊龍」の香りを楽しんだほか、朝日柳香会(若柳由



美代会主)による優雅な日本舞踊が、まつりに華を添えていました。

利き酒などで盛り上がる中、参加者たちは「とてもいい企画。今後も続いてほしい」と語っていました。

創遊塾(3月20日、27日／創遊館)



海谷美樹氏



菅野美奈子氏

ライフスタイルを豊かなものに

子育て世代の女性のライフスタイルを、より豊かで充実したものにしていくにはどうあるべきかを考える学習会「創遊塾」が、このほど2日間の日程で開催されました。参加者は13人。

WinSUPPORT山形代表の海谷美樹氏と、AISOH0企業組合代表理事の菅野美奈子氏の両名が講師を務め、「楽しく子育てするには、まず自分自身を大事にすること」と受講生たちに語っていました。

私たちのエコロジー展

(3月13日～4月1日／創遊館)



身近なところからエコロジー

朝日の元気プロジェクト「アットホーム(峯田真人代表)」で、エコロジーな暮らし方を提案する展示会での研修報告として、創遊館で展示を行いました。見て、聞いて、感じたこと、へえ〜と思ったこと、すごい!!と思ったこと、これならやれそうと思ったこと等々、みんなの感性で、思い思いに表現したものです。身近なところからエコロジー、皆さんも取り組んでみませんか。

ふれあい荘に車椅子贈る

(3月15日／ふれあい荘)



プルタブ160万個の善意

中高生ボランティアサークルの「きらり」と「JOKER」、そして大谷小学校の児童たちが、平成13年から始めたプルタブ募金。その数約160万個の善意がようやく車椅子となり、このたびふれあい荘(保利貞雄理事長)に寄贈されました。

保利理事長は、「善意をこのような形で頂戴できて大変うれしい。大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

程) ③ 齊藤彩美 (常盤)
▽中学生の部 ① 長岡裕太 (常盤)
② 高橋拓也 (常盤) ③ 村山奈津美 (常盤)
■ 第40回町民バドミントンフェスティバル (3月25日／町民体育館／参加者47人)
【団体】▽Aブロック ① H・B・C (本間広代表) ② 河北バド (石塚文規代表) ③ 朝日SC (荒井謙治代表)
▽Bブロック ① どんぐり (相原幸仁代表) ② グリーンアップル (石塚留美子代表) ③ 寒河江クラブA (鈴木清美代表) 【個人】▽オーブンダブルス 1部 ① 尾形裕也・滝田俊文 ② 大沼廣男・秋場勇 ③ 荒井謙治・森はるか▽オーブンダブルス 2部 ① 石塚文規・後藤昭子 ② 本間広・永尾郁子 ③ 木村弘子・石塚芳幸 ③ 石塚留美子・鈴木政利▽レディースダブルス ① 鈴木清美・柴橋由美子 ② 渡辺絵美・日下部裕美 ③ 渋谷三津子・軽部庸子 ③ 渡辺はるみ・堀育



みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。

町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日頃感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

■あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)

■Eメール／inform@town.asahi.yamagata.jp

■URL／<http://www.town.asahi.yamagata.jp>

■携帯サイト／<http://www.town.asahi.yamagata.jp>



ダチョウの関連商品については、精肉、石鹼、化粧水、サラミなどの肉製品、革製品などがありますが、これらの

答

貴重なご提案をいただきありがとうございます。

【阿部康子さん(常盤)】

が完成するものと思います。
【問】NHKの番組で、猪の肉の燻製が紹介されていました。新たにダチョウを特産品と位置づけている朝日町においても、櫛や櫛など樹脂の少ない木材の煙で燻したダチョウ肉の燻製を商品化できないものでしょうか。特有の香味を持ち長期保存も利く新商品が完成するものと思います。

ダチョウ肉の燻製を 町の新商品に

ほとんどがこれまで町外で加工されてきました。
このたび、(銚山形朝日オー
ストリッチ産業センター(佐
藤俊實社長)が店舗兼工場の
朝日町健康工房「ロイフェン」
を4月7日にオープンさせ、
実際にソーセージを中心とし
たダチョウ肉の加工が行われ
ています。ご提案いただいた
燻製品についても、商品化に
向けての開発が進められてい
ます。
ロイフェンの主任技術者は
RINGOプロジェクトの受

「朝日町史」上巻 いよいよ発刊！

町制施行50周年を記念し編さんした『朝日町史』上巻が、このたび発刊されました。原始から近世(江戸時代)までの朝日町の姿を知ることができます。

温故知新。古きを訪ねて新しきを知る。これからのまちづくりのキーワードが、ここに隠されているかもしれません。



お詫びと訂正

広報あさひまち3月号の13頁「まちの話題」の「③町体育協会表彰式」の記事の中に、次のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

＝訂正前＝

【殊勲賞】朝日中女子バスケットボール部(清野倫・佐竹美咲・鈴木萌枝・鈴木里美・鈴木美咲・五十嵐綾華・白田真唯・佐藤真奈巳・長岡のぞみ・志藤彩萌・清野真好・若月未来・鈴木詩織・鈴木琴美)

＝訂正後＝

【殊勲賞】朝日中女子バスケットボール部(清野倫・佐竹美咲・鈴木萌枝・鈴木里美・鈴木美咲・五十嵐綾花・東海林ちえみ・鈴木綾華・白田真唯・佐藤真奈巳・長岡のぞみ・志藤彩萌・清野真好・若月未来・鈴木詩織・鈴木琴美)

■体裁 A5版、布クロス上製本、ビニールカバー・ケース付、約880頁

■頒布価格 3,000円

■取扱先 教育文化課(創遊館内)
西部公民館、秋葉山交遊館
(有)近江屋

【問】教育文化課 ☎67-2118



平成19年(2007年)
■3月1日～3月31日届出



すこやかに

区名 出生児氏名 性別 保護者名
栗木沢 遠藤 香春 女 勝一・康子



おしあわせに

星 直樹 (東京都)	長岡 法子 (西町)
井澤 秀紀 (松原)	犬飼 くみ子 (寒河江市)
鈴木 敬二 (緑町)	須藤 友子 (秋田県)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
西船渡	鈴木 たち子	幹雄
栄町	鈴木 幸吉	透
元町	鈴木 武	た子
元町	柴田 榮次郎	みつ
前田沢	成原 せつ	吉一
舟渡	成遠 たけの	正雄
前田沢	阿部 記一	秀直
前田沢	成原 三男	昭子
前田沢	成鈴木 コト	陸三郎
大津野	鈴木 谷 正	宏志
真栄大	鈴木 安岡 井	志一
大隅	菅 井	清

掲載を希望しない方は、届け出の際にお申し付けください。

人口と世帯数

●平成19年3月31日現在
人口 8,592人(減32人)
男 4,251人(減24人)
女 4,341人(減8人)
世帯数 2,540戸(減7戸)
()内 前月比

問 以前から疑問に思っていたことなのですが、町商工会さんで発行しているお買い物券に使用期限があるのはなぜなのでしょう。同じような金券でビール券などがありますが、それには使用期限

あるのはなぜ？
商品券に使用期限があるのはなぜ？

講生で、本場ドイツの食肉加工マイスターから直接技術を学び、町の特産品開発をめざし日々頑張っています。
新たな特産品として、今後町としても、催事やキャンペーンなどでPRしてまいります。
【産業振興課】

答 商品券等の発行については、前払式証券法(前払式証券の規制等に関する法律)の規制を受けます。具体的には、商品券等の発行者(ここでは朝日町地域振興発展会)

は、東北財務局の登録を受けた法人でなければ発行業務を行ってはならない(法第6条)とされています。
しかし、当地域振興発展会(渡辺金二会長)は任意組織の団体で、法務局に登録している法人格のある組織ではあ



りません。法人格にすることにより法人税等(法人税、町県民税)を納付することが必要になります。
また、使用期限を設けない場合、発行した商品券等の未使用残高が一定の金額を超えた場合、その未使用残高の2分の1以上の額に相当する額を、発行保証金として供託することが必要となります。
これらの点を考慮し、任意団体でも発行できる方法はないかと検討した結果、使用期限が6カ月以内の証票である場合、法の規制を受けない前払式証券の発行が認められるという条文(制令第2条)が



あり、それに従って発行している次第です。
町内の活性化のため努力していることでもありますので、使用期限があることに対しご理解をいただければと思います。今後とも、お買い物券のご利用ご愛顧をよろしくお願いいたします。
【町商工会】

朝食レシピコンクール

朝日町では朝食を食べることの重要性やその楽しさを、家族みんなで考えることを目的として平成18年度に朝食レシピを募集しました。その中から選りすぐりのものを紹介します。

最優秀賞「根菜の簡単あったかトマトスープ」



材料（4人分）

- ・トマトジュース・・・320cc
- ・白菜・・・2～3枚
- ・大根・・・1/4本
- ・鶏がらスープのもと・・・適量
(粉末でも固形でもOK)
- ・塩コショウ・・・少々
- ・パセリ・・・少々
- ・水・・・200cc

作り方

- ①白菜と大根を一口サイズに切ります。
- ②小さなべに、水200ccと鶏がらスープのもとをいれ、火にかけます。
- ③スープのもとがとけたらトマトジュースと①を入れ、根菜が柔らかくなるまでにます。
- ④塩コショウで味を調整します。
- ⑤火を止めスープカップにうつし、パセリをのせたら出来上がり！



ゆい
遠藤由唯さん
(真 中)

私はミネストローネが好きなので、簡単に朝でも作れるトマトスープが作れないかなあと思いこのスープを考えました。

材料は全部自分の家の冷蔵庫に入ってあった食材を使いました。簡単に作れるし、とってもあったまるので、朝のみそ汁代わりに作ってみてください。

春夏秋冬

編集後記

思えばいつも何気なく歌っていただけのよう気がします。しかし、今回はじめて聴き手側として参加したこと、合唱には歌い手ではわからない、聴き手のみが味わうことができる格別の感動があるというのを知りました。何かを伝えるという点では広報も合唱と一緒に。合唱のよきに「感動」までには至らなくとも、皆さんに「わかりやすく・活き活きとした」紙面を提供できるよう、努めていきたいと思っています。(サック)

4月から新しく広報の担当になり、右も左もわからないまま、入学式の取材に。午前中の西五百川小学校に続いて、同日の午後に朝日中学校を訪れたときのこと。厳肅な雰囲気の中、式が始まり、校歌斉唱が始まったとき。冒頭の「きらめき光る白銀の...」のフレーズを聴いた瞬間、予期せぬ感動を覚えた。中学生時代の思い出が、一気に頭を駆けめぐり、目頭が熱くなり、涙がこぼれ出た。私が中学生の頃から合唱には力を入れていましたが、今



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。